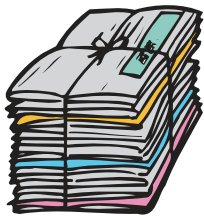


》古紙 (リサイクル)

古紙は種類によって、それぞれ違う用途の紙に再生されるため、きちんと種類ごとに分別することが大切です。「新聞・新聞折込チラシ」「雑誌・本・雑がみ」「紙パック」「段ボール」の4種類に分別し、金属やビニールなど異物は取り除いた上で、各リサイクルステーション(16・17 ページ) へお持ちください。

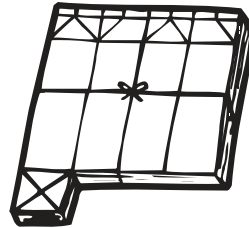
●新聞
●新聞の折込チラシ



●雑誌
●本
●雑がみ



●紙パック



●段ボール



ひも (ビニールまたは紙ひも) でしっかりしばって出してください。

雑がみとは…

ティッシュの箱 (ビニールを取りはずす)、菓子箱、食品の外箱、パンフレット、リーフレット、カレンダー、包装紙、事務用紙、メモ用紙、封筒 (窓付きはビニールを取りはずす)、ラップの紙芯など

●ティッシュの箱
(ビニール部分は
燃えるごみ)



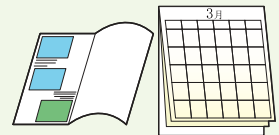
●菓子・アイスの箱



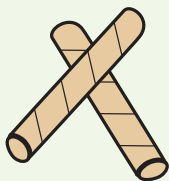
●ビールの外包み



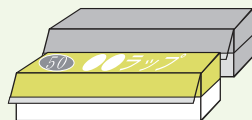
●パンフ・カレンダー



●ラップやホイル・
トイレットペーパーの芯



●ラップやホイルの箱
(金属部分は破砕ごみ
プラスチック部分は
燃えるごみ)



➤ 出し方のポイント

雑誌・本類の間にはさみ込むか、封筒や紙袋に入れて出すことができます。

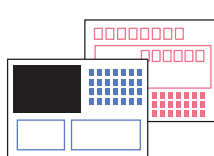


次の紙類はリサイクルできません。燃えるごみに出してください。

汚れた紙、プリント写真、アルバム、感熱紙、感圧紙、和紙、油紙、カーボン紙、ビニールコート紙、ワックス加工紙 (紙コップ・米袋)、シールとその台紙、銀箔貼った紙パック (生クリームなど)、洗剤箱、線香箱



汚れた紙



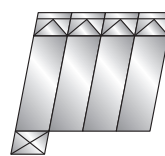
感熱紙・感圧紙
・カーボン紙



紙コップ
・米袋



ビニールコート紙



銀箔パック

燃えるごみ